

製品名: 切断スペクトリン α II (D1185) ウサギポリクローナル抗体

カタログ番号: APRab09029

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、 -20°C で保存してください (12 ヶ月有効)。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	137kDa

抗原情報

遺伝子名	SPTAN1
別名	SPTAN1; NEAS; SPTA2; Spectrin alpha chain; non-erythrocytic 1; Alpha-II spectrin; Fodrin alpha chain; Spectrin, non-erythroid alpha subunit
遺伝子 ID	6709.0
SwissProt ID	Q13813
免疫原	抗血清はヒト SPTA2 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 1136-1185

背景

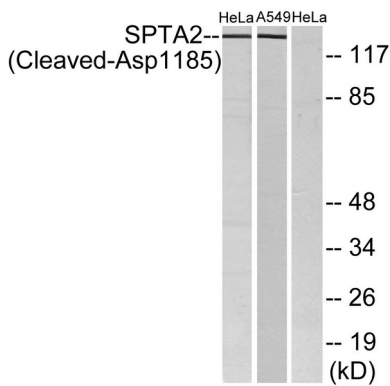
スペクトリンは、細胞膜を安定化させ、細胞内小器官を組織化する重要な足場タンパク質として機能する、糸状の細胞骨格タンパク

質ファミリーです。スペクトリンは α および β 二量体から構成され、それらが会合して頭対頭の配置で四量体を形成します。この遺伝子は、赤血球系以外の細胞で特異的に発現する α スペクトリンをコードしています。このタンパク質は、DNA修復や細胞周期制御など、他の細胞機能にも関与していることが示唆されています。この遺伝子の変異は、早期乳児てんかん性脳症 5 の原因です。選択的スプライシングにより、複数の転写産物バリエーションが生じる。[RefSeq 提供、2010 年 9 月],機能: 分泌に関与すると考えられるフォドリンは、カルシウム依存的にカルモジュリンと相互作用し、膜における細胞骨格のカルシウム依存的な移動の候補となる。、PTM: Tyr-1176 のリン酸化は、in vitro におけるカルパインによる切断に対する感受性を低下させる。、類似性: スペクトリンファミリーに属する。、類似性: 1 つの SH3 ドメインを含む。、類似性: 23 個のスペクトリン反復を含む。、類似性: 3 つの EF ハンドドメインを含む。、サブユニット: 赤血球スペクトリンと同様に、スペクトリン様タンパク質は二量体を形成し、さらに四量体を形成する能力がある。ACP1 のアイソフォーム 1 と相互作用する。CALM と相互作用する。、

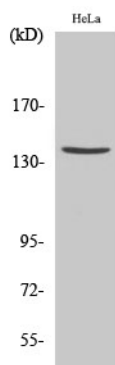
研究分野

タイトジャンクション;

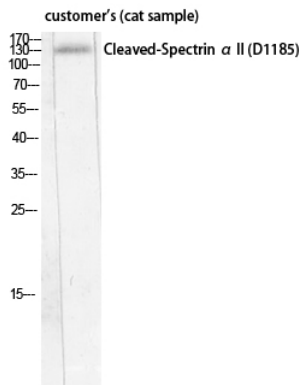
画像データ



HeLa 細胞および A549 細胞ライセートをエトポシド 25 μ M で 24 時間処理し、SPTA2 (Cleaved-Asp1185) 抗体を用いてウェスタンブロット解析を行った。右レーンには合成ペプチドでブロッキングした。



Cleaved-Spectrin α II (D1185) ポリクローナル抗体 (1: 500 希釈) を用いた各種細胞のウェスタンブロット解析



お客様の猫検体の Cleaved-Spectrin α II (D1185) ポリクローナル抗体 (1: 500 希釈) を用いたウエスタンブロット解析